

第5回 日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議

日時：令和7年 5月15日（木）14:00～

場所：日田市立淡窓図書館 2階研修室

次 第

1 開会

2 議事

議案1 報告書（案）、目次、はじめに

議案2 1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像

（1）基本理念

（2）基本理念につながる5つの柱

※参考 第4回 書面開催<議案>の回答まとめ

3 その他

4 閉会

日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議
報告書(案)

日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議

令和 7 年 月 日

目 次

はじめに

次頁

1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像

議案2

(1) 基本理念

(2) 基本理念につながる5つの柱

2. 会議の経過

第1回 令和6年 7月 18日(木)

第2回 令和6年 10月 24日(木)

令和7年 1月 30日(木)「先進地視察」

第3回 令和7年 2月 6日(木)

第4回 令和7年 3月 28日「書面開催」

第5回 令和7年 5月 15日(木)

既存資料を添付
します

3. 資料

- ・日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議設置要綱
- ・日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議委員名簿
- ・子どもアンケート集計結果
- ・会議資料及び議事録

はじめに

淡窓図書館は築後 36 年が経過し、施設・設備が老朽化していることに加え、近年の市民ニーズの多様化により、従来の図書館とは異なった多様な機能を持つ図書館が全国各地にできていることから、日田市の図書館サービスをより市民ニーズにあつたものにする必要があります。

日田市教育大綱は「未来を切り拓き、ふるさとを愛する人づくり」を基本理念としています。また、第6次日田市総合計画第3期基本計画の教育・文化(3)生涯学習の充実の中の図書館では「図書館利用者に対するレファレンスサービスの向上に努めるとともに、新たな役割や機能をより一層充実させるため、図書館の在り方を見直し、今後の方向性について検討を行います」を基本方針としています。

そこで、令和 6 年 4 月、公募市民を含め学識経験者、福祉関係、教育関係、オブザーバー等 15 人の委員からなる「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議」(以降、「市民検討会議」という)を設置し、図書館の現状と課題、どのような図書館であるべきか議論を重ね、先進地視察や子どもアンケートを実施しながら、今後の在り方について検討してまいりました。

「市民検討会議」で出された多くの貴重な意見をもとに、日田市のまちづくりにつなげるため日田市立淡窓図書館が“目指す図書館像”を掲げ、報告書としてまとめました。

本報告書を今後の図書館サービスの改善に役立ててもらうとともに、”目指す図書館像”の実現に向けて、積極的に取り組んでいただくことを期待します。

令和 7 年 月 日
日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議

1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像

変更後	(Ⅰ) 基本理念
<p>案1『市民に親しまれ、市民の支えとなる拠点』</p> <p>案2『人づくりを支える、学びとまちづくりの拠点』</p> <p>図書館は、地域住民のための施設として、多様な資料を収集し、図書の貸出をはじめとする様々なサービスを提供することで、地域社会に貢献してきました。</p> <p>しかし、社会の変化に伴い、図書館には従来の本を借りる、静かに過ごす、調べものをするという役割に加えて、「友達と話しながら学べる」「活動成果を発表したり作品を展示できる」「子どもたちが安心して過ごせる」「自宅にいながら情報にアクセスできる」といった、住民の多様なニーズに応えることが求められています。</p> <p>そこで、これから淡窓図書館はどんな図書館だったらいいかが、従来とは違う未来の図書館の在り方にについて、「市民検討会議」で出された主な意見や「子どもアンケート調査」の小学生・中学生の意見・要望から導き出された図書館のあるべき姿は、以下のとおり、5つにまとめられます。</p> <p>1. 子どもたちの学びや好奇心を育む 2. 誰もが利用しやすく、行きたくなる 3. 郷土の歴史と文化の学びを支える 4. 地域との連携や住民の交流を促進する 5. 情報発信の強化とデジタル化を推進する</p> <p>これらの市民の声と未来への展望を踏まえ、日田市立淡窓図書館は、すべての市民が図書館の持つ情報や多様な機能、そして心温まるサービスを享受し、地域活動と学びを支え、さらには地域の魅力と情報を発信する拠点となることを目指し、以下の基本理念を掲げます。</p> <p>『市民に親しまれ、学びとまちづくりを支える「人づくり」※の拠点』</p> <p>なお、前述の1から5.の内容は、基本理念につながる5つの柱（取り組むべき方向性）として、次頁以降に提案します。</p> <p>※「人づくり」とは、図書館には、人の成長を促し、人が成長するための環境（図書等）が整っている必要があることに加え、以下の4つの人を大切にし育む重要な役割があることを意味します。</p> <p>①日田市に愛着を持って住み継けてくれる人 ②市外に住むようになつても日田市を応援してくれる人 ③日田市の歴史や文化を後世に残してくれる人 ④日田市のまちづくりに様々な形で携わってくれる人</p>	

変更後	変更前
<p>(2) 基本理念につながる5つの柱</p> <p>(1) 基本理念を実現するため、次の5つの柱を日田市立淡窓図書館が目指す図書館像の方向性とします。</p>	<p>(2) 基本理念につながる5つの柱</p> <p>(1) 基本理念を実現するため、次の5つの柱を日田市立淡窓図書館が目指す図書館像の方向性とします。</p> <p>I 子どもたちの学びや好奇心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子で気軽に来られる環境(声を出せる部屋など)づくり ○読書以外の興味を引き出すイベント(映画放映など)の実施 ○楽しめる場所(フリースペース、マンガの閲覧、ボードゲームなど)づくり <p>II 誰もが利用しやすく、行きたくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サイレント部屋の設置や館内に音楽(BGM)が流れる環境づくり ○読書や勉強に適した一人用デスクスペース(窓際)などの整備 ○日田杉を使ったベンチやくつろげるスペースなど、人が集まる場づくり ○おしゃべりができる学習スペース、グループ会議室などの整備 <p>III 郷土の歴史と文化の学びを支える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日田市特有の歴史・文化・芸術等を活かした図書資料の充実 ○郷土資料等のデジタルアーカイブの構築 <p>IV 地域との連携や住民の交流を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書資料貸出・返却可能な分散拠点(公民館など)の拡大 ○アウトリーチサービス(利用困難者などに対する活動)の展開 ○<u>まちづくり等</u>の分野や他のイベントと連携した、<u>来館のきっかけ</u>、仕組みづくり ○地域全体で図書館を活用(作品の展示、発表の場づくりなど) <p>V 情報発信の強化とデジタル化を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SNS等、様々な広報手段を活用した図書館の情報発信を強化 ○ICタグの設置や自動貸出機など、館内設備のデジタル化 ○インターネットに対応した電子書籍やオーディオブックの導入

参考

日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議

第4回 書面開催<議案>の回答まとめ

回答数 (13名) / 15名

	賛成	意見
別紙1 報告書(案) 目次、はじめに	(13)	はじめに 15行目文頭(委員の皆様による) ↓ (「市民検討会議」で出された)へ修正
別紙2 (1)基本理念	案1(3) 案2(8)	参考1のとおり
別紙3 (2)基本理念につな がる5つの柱	(12)	参考2のとおり

別紙1、別紙3については、概ね了承を得られたところです。

別紙2の(1)基本理念は、案2が賛成多数でした。

しかしながら、参考1、2のとおり、意見も多くありましたので、それを考慮したうえで修正を
加えまして、第5回会議資料の議案2とします。

(1) 基本理念

意見①

日田市立淡窓図書館は、地域住民のための施設として、多様な資料を収集し、図書の貸出をはじめとする様々なサービスを提供することで、地域社会に貢献してきました。

しかし、社会の変化に伴い、図書館には従来の本を借りる、静かに過ごす、調べ物をするという役割に加えて、「友達と話し合いながら学べる」「活動成果を発表したり作品を展示できる」「子どもたちが安心して過ごせる」「自宅にいながら情報にアクセスできる」といった、住民の多様なニーズに応えることが求められています。

そこで、これからの中窓図書館はどんな図書館だったらしいのか、従来とは違う今後の図書館の在り方について、「市民検討会議」で出された主な意見や「子どもアンケート調査」の小学生・中学生の意見・要望から導き出された図書館のあるべき姿は、

1. 子どもたちの学びや好奇心を育む
2. 誰もが利用しやすく、行きたくなる
3. 郷土の歴史と文化の学びを支える
4. 地域との連携や住民の交流を促進する
5. 情報発信の強化とデジタル化を推進する

のように5つにまとめられます。

これらの市民の声と未来への展望を踏まえ、日田市立淡窓図書館は、すべての市民が図書館の持つ情報、多様な機能、そして温かいサービスを享受し、地域活動と学びを支え、さらには地域の魅力を発信する拠点となることを目指し、以下の基本理念を掲げます。

**「市民に親しまれ、学びと交流を通して、人づくりとまちづくり
を支える拠点」**

(I) 基本理念

意見②(朱書き加筆修正)

図書館は、地域住民のための施設であり、多様な資料を収集し図書の貸出などによるサービスを地域住民に提供する役割を担っています。

しかしながら、従来のような「本を借りて帰る」、「静かな場所である」、「調べものをする」といっただけの「場所」ではなく、「友達とおしゃべりしながら勉強ができる」、「活動などの発表や作品の展示ができる」、「子どもが大きな声で騒いでも大丈夫」、「図書館に行かなくても資料や情報が入手できる」など、住民の多様なニーズに応えられるよう、より多くの住民に公平なサービスを提供することが、これから図書館に求められているのではないでしょうか。

そこで、これから淡窓図書館はどんな図書館だったらしいのか、従来とは違う未来の図書館の在り方について、「市民検討会議」~~モ~~において議論を重ねる中で様々な意見が出されました。

この時に出された主な意見や「子どもアンケート調査」の小学生・中学生の意見・要望から導き出された図書館のあるべき姿は、

(I 行空け)

- (1) 子どもたちの学びや好奇心を育む ※()の後に1字分空ける
- (2) 誰もが利用しやすく、行きたくなる
- (3) 郷土の歴史と文化の学びを支える
- (4) 地域との連携や住民の交流を促進する
- (5) 情報発信の強化とデジタル化を推進する

(I 行空け)

のように、5つにまとめられます。

~~■■■~~これらのことから、日田市立淡窓図書館が目指すべき図書館像は、すべての市民が図書館の情報や多様な機能・サービスの恩恵を受け、図書館が地域活動や学びを支える場となり、地域の情報発信拠点となることが重要であることから、上記の基本理念を掲げたものです。

なお、前述の(1)から(5)の内容は、上記の基本理念につながる5つの柱(取り組むべき方向性)として、次頁以降に提案します。

(1) 基本理念

意見③

案1に賛成
ふたつ(案1と案2)をうまく合わせることができれば

意見④

案1と案2をまとめた内容で、
例えば、「市民と共にあり、学びとまちづくりの拠点」はどうでしょう？

意見⑤

案2に賛成。
今後、目指す図書館像として、地域の情報発信拠点となることが重要と同感しています。
市民が集える場となるよう願います。

意見⑥

案2に賛成。
人づくりを支える←いらないと思います。
大きな声で騒いではいけないと思います。

意見⑦

案2に賛成。
「人づくりを支える…」について
人づくりについて、どんな人づくりを目指すのかに踏み込めるといい。
そうすると、より市民が具体的なイメージがわき、行きたいなる図書館のつながる。
例えば、「日本を代表する人づくり」：廣瀬淡窓、井上準之助、大蔵永常など
「日本のまちづくりを支える人づくり」
などインパクトのある、一步踏み込んだ表現必要と感じます。
この表現は、今回の検討会議の最も重要なポイントだと思います。

(2) 基本理念につながる5つの柱 (案)

意見①

(2)は、(1) 基本理念を実現するため、次の5つの柱を日田市立淡窓図書館が目指す図書館像の方向性とします。

I 子どもたちの学びや好奇心を育む

○親子で気軽に来られる環境(声を出せる部屋など)づくり

意見②

5つの柱に関しては、今までの会議での討論・意見なされたことや、視察にて感じていた理想も組み込まれていて、いち日田市民として、実現できるようにしてほしいと痛感しました。

意見③

全体像が見えにくいです。市民(利用者)目線の表現にしてはいかがでしょうか。

意見④

(2) 基本理念につながる5つの柱のIII、IVについて、基本理念で「まちづくり」という方向性を打ち出したときに「…つながる柱」においてもその具体的な言葉が入っている事が必要なので。

III ○.....図書資料の充実 ⇒ 図書資料を収集し保存と活用を進める

意見の理由:日田市の特有の歴史に資する史料が散逸と廃棄の危機的状況にあるため収集し保存・活用を明言したほうがわかりやすい。

廃棄:地域の歴史史料は世代交代時の家を片付けるときにゴミとして処分され事が非常に多いため

IV ○.....住民の交流を促進する ⇒ 住民の交流(まちづくりとの連携)を促進する

意見の理由:今回の図書館の利用を促進する具体的な方向として「まちづくりとの連携」が先進図書館が取り組んでいたし、委員からの意見も多かったので、「交流」その具体的なイメージとして表現すると市民の理解が進むと感じましたので。

○他の分野や…⇒ まちづくり等の分野

意見の理由:「他の分野」でくくって表現することを否定する気はありませんが、より理解を得るために具体的な表現を入れたほうが理解が進むと感じましたので。